

## ヒメビロウドカミキリ *Acalolepta degener* (Bates)

### 【選定理由】

県内においては、1952年に豊根村で採集された標本と1955年に「段戸」から採集されたという記録が残されているのみである。最後の生息情報から50年以上経過しているため、絶滅と判定した。

### 【形態】

体長8.5～12mm。ビロウドカミキリ類の中にあつては際だって小型の種である。褐色で、灰白色の微毛による不規則な白色部がある。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

豊根村と設楽町で古い記録がある。

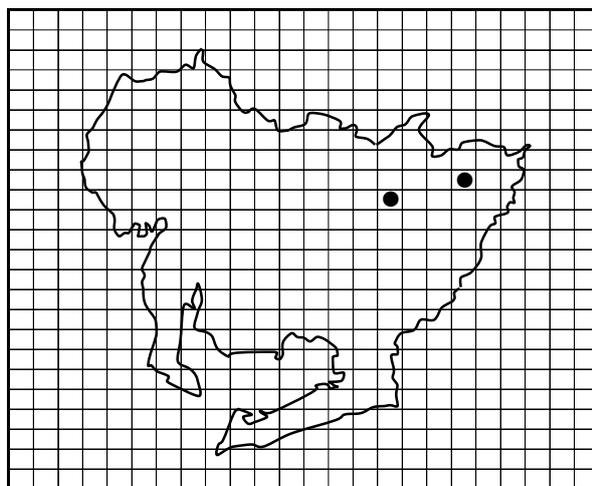
#### 【国内の分布】

本州、四国、九州、対馬に分布する。

#### 【世界の分布】

台湾、朝鮮半島、ロシア沿海州から記録がある。

県内分布図



### 【生息地の環境／生態的特性】

低山地から山地の草原に生息する。成虫は6～8月に出現し、オトコヨモギやヨモギの葉や茎を後食する。幼虫はオトコヨモギの生茎内、あるいは生根内に穿孔する。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

50年以上にわたって生息情報が途絶えており、県内には生息環境が残されていない。本種を含む草原性の種には絶滅が危惧される種が多く含まれる。これは、元々我が国に草原的な環境が少なく、生息基盤が脆弱であったことに加え、戦後、自然草原、半自然的な草原面積が急激に減少したことで、半ば人為的に営まれてきた草原への農薬使用等の影響などが考えられる。

### 【保全上の留意点】

現在残る自然草原あるいは半自然的な草原環境を保全することが必要であろう。東京都の多摩川や静岡県の天竜川の河川敷で、近年生息地が発見されていることから、今後河川敷を中心に調査が行われ、生息地が再発見されることに期待したい。

### 【関連文献】

湯沢宣久・蟹江 昇・河路掛吾・竹内克豊, 1990. 愛知県のカミキリムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 389-433. 愛知県.  
竹内克豊・原田猪津夫・松野更一, 1980. 愛知県北設楽郡のカミキリムシ. 愛知県豊根村の動物: 231-285.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)